

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ジーダット

コード番号 3841 URL <http://www.iemat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋 真一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 増山 雅美

TEL 03-5847-0312

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	678	△6.7	△38	—	△24	—	△14	—
23年3月期第2四半期	726	4.6	31	—	40	496.7	24	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △15百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△771.90	—
23年3月期第2四半期	1,291.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,746	2,390	87.1
23年3月期	2,652	2,427	91.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,390百万円 23年3月期 2,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	△2.4	△30	—	20	△47.3	5	△61.0	310.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	19,500 株	23年3月期	19,500 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	300 株	23年3月期	300 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	19,200 株	23年3月期2Q	19,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）における国内半導体ならびにFPD(Flat Panel Display)業界は、東日本大震災発生以来、各企業の壮絶な努力とスマートフォン需要等に支えられて、生産面では急速に回復して従来水準に戻りつつありますが、長期化する超円高や、薄型テレビを始めとした民生用電子機器の大幅な価格下落等により、収益面では依然として厳しい状況が続いております。さらには、生産拠点の海外移転加速および業界再編等が進み、先行きは益々不透明感を増しております。

こうした中で当社企業グループは、海外、特に中国子会社の直販体制を大幅に強化して、中国向けの販売活動を本格化させた他、国内においても、高信頼性設計を新機軸とした新製品および新設計フローの提案を積極的に実施してまいりましたが、短期的な成果としては限定的なものとなっており、業績はほぼ計画通りに推移したものの、前年実績を下回る結果となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期と比較して48百万円（6.7%）減少して6億78百万円、営業損失は38百万円（前年同四半期は営業利益31百万円）、経常損失は24百万円（前年同四半期は経常利益40百万円）、四半期純損失は14百万円（前年同四半期は四半期純利益24百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 当第2四半期連結会計期間末の総資産、負債、純資産の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して94百万円（3.6%）増加し27億46百万円となりました。内訳として、流動資産は1億50百万円（6.4%）増加し25億3百万円、固定資産は55百万円（18.7%）減少し2億42百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、現金及び預金が55百万円（2.7%）増加し21億9百万円、受取手形及び売掛金が32百万円（14.9%）増加し2億47百万円、繰延税金資産が32百万円（154.8%）増加し53百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、投資その他の資産が45百万円（18.5%）減少し2億1百万円、有形固定資産が11百万円（37.4%）減少し18百万円となったことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億30百万円（58.1%）増加し3億55百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、前受金が1億5百万円（127.5%）増加し1億87百万円となり、買掛金が23百万円（67.9%）増加し58百万円となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して36百万円（1.5%）減少し23億90百万円となりました。純資産が減少した主な要因は、四半期純損失14百万円と、剰余金配当19百万円によるものであります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の91.5%から87.1%となりました。

② 当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べ3億55百万円増加し12億9百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期比で1億50百万円（62.1%）減少し、92百万円となりました。主な要因は、前受金の増加が1億5百万円、仕入債務の増加が23百万円となった一方で、売上債権が36百万円増加し、税金等調整前四半期純損失が25百万円計上されたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は2億81百万円（前年同四半期は4億11百万円の使用）となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入が12億円となった一方で、定期預金の預入による支出が9億円となったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同四半期と同等の19百万円となりました。これは配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表しました平成24年3月期の連結業績予想からの変更はありません。

なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知おきます。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,054,098	2,109,258
受取手形及び売掛金	214,975	247,106
たな卸資産	7,207	5,665
繰延税金資産	20,880	53,208
その他	58,017	90,255
貸倒引当金	△1,500	△1,700
流動資産合計	2,353,679	2,503,793
固定資産		
有形固定資産	29,812	18,667
無形固定資産	22,115	22,984
投資その他の資産		
繰延税金資産	193,560	174,955
その他	53,261	26,199
投資その他の資産合計	246,821	201,154
固定資産合計	298,749	242,806
資産合計	2,652,428	2,746,600
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,544	58,011
未払法人税等	8,294	6,066
賞与引当金	40,627	48,016
前受金	82,564	187,814
その他	58,922	55,742
流動負債合計	224,954	355,651
負債合計	224,954	355,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	814,117	778,653
自己株式	△32,676	△32,676
株主資本合計	2,432,006	2,396,542
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,532	△5,593
その他の包括利益累計額合計	△4,532	△5,593
純資産合計	2,427,474	2,390,948
負債純資産合計	2,652,428	2,746,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
売上高	726,720	678,247
売上原価	199,092	187,402
売上総利益	527,627	490,845
販売費及び一般管理費		
役員報酬	21,600	18,140
給料及び手当	136,546	142,808
賞与引当金繰入額	27,176	21,431
研究開発費	182,208	197,121
その他	128,743	149,622
販売費及び一般管理費合計	496,274	529,124
営業利益又は営業損失(△)	31,352	△38,279
営業外収益		
受取利息	7,203	2,844
助成金収入	2,059	12,522
その他	1,423	119
営業外収益合計	10,686	15,486
営業外費用		
為替差損	1,106	1,617
その他	11	—
営業外費用合計	1,118	1,617
経常利益又は経常損失(△)	40,920	△24,410
特別損失		
子会社清算損	—	776
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	554	—
特別損失合計	554	776
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	40,365	△25,186
法人税、住民税及び事業税	4,234	3,357
法人税等調整額	11,327	△13,723
法人税等合計	15,562	△10,365
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	24,803	△14,820
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,803	△14,820

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	24,803	△14,820
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,093	△1,061
その他の包括利益合計	△1,093	△1,061
四半期包括利益	23,710	△15,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,710	△15,882
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	40,365	△25,186
減価償却費	12,415	19,178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,200	200
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,572	7,388
受取利息	△7,203	△2,844
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	554	—
売上債権の増減額(△は増加)	97,475	△36,650
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,766	1,541
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,132	23,467
前受金の増減額(△は減少)	104,333	105,250
その他	7,009	702
小計	233,279	93,046
利息の受取額	13,872	4,564
法人税等の支払額	△4,060	△5,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,091	92,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,621	△1,070
無形固定資産の取得による支出	△1,273	△330
貸付金の回収による収入	1,205	554
敷金の差入による支出	△359	△17,419
定期預金の預入による支出	△900,000	△900,000
定期預金の払戻による収入	500,000	1,200,000
その他	△7,262	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△411,312	281,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△19,200	△19,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,200	△19,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,093	△2,485
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188,514	352,326
現金及び現金同等物の期首残高	981,161	854,098
その他の現金及び現金同等物の増減額	—	2,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	792,646	1,209,258

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。